頑張りました！
国際スポーツ雪かき選手権
IN小樽２０１９

　去る２０１９年２月１７日、小樽市石山町内にて「第６回　国際スポーツ雪かき選手権」が行われました。

　このイベントは「スポーツの力で高齢化に伴う除雪問題を解決し、地域の活力再興と交流促進を実現しよう！」というコンセプトの元に、雪かきを通じて地域コミニュティを元気にする「協働の種」が育まれることを目的としています。社会問題になりつつある「雪かき」を新たなスノースポーツとして捉えなおすことで、社会貢献や地域活性化につなげている点が評価され、スポーツ庁、文化庁、観光庁の３庁が主催する「スポーツ文化ツーリズムアワード２０１８」でマイスター部門に入賞する快挙も成し遂げています。

　小樽開発建設部も、最強（？）のメンバーが勢揃いし、「世界の後志を目指して」チームとして、いざ参戦！！

　さて、結果はいかに？！

まずは、開会式。出場メンバーが勢揃いして、ルールの説明を聞きます。小樽市副市長、後志総合振興局副局長、中村裕之議員秘書からの挨拶もありました。

雪かき雪かき～♪
スポーツ雪かき～
♬

その後は準備運動。「雪かき雪かき～♬」という少し怪しげなオリジナルの歌と振り付けに合わせて、みんなでしっかり身体をほぐします。

次に現地に移動して、さらに詳しくルール説明。「チームはあらかじめ抽選で決められた小路や路側帯のエリアを雪かきするものとし、以下の計算により、得点を競うものとする。得点＝〔（ア）雪かき効率〕×１０＋〔（イ）消費カロリー〕－〔（ウ）減点項目〕」・・・難しいですね。簡単に言うと、２０分でどれだけキレイに雪かきできるか！そして、消費カロリーも競います。

実際の小路は、こんな感じ。「けっこう急だし、狭いな・・・。」メンバーの顔色が少し曇ります。

スポーツだ！

雪かきは・・・

でも、大丈夫。最強チームは気合十分。事前説明通り、審判が「雪かきは」と声をかけると、メンバー全員で「スポーツだ！」と大きな声でこぶしを上げ、さぁ、競技スタートです！！

時間と体力との闘い！

まずは下から。決められた幅まで広げていきます。ふんわりと降り積もった雪は柔らかく、足場が不安定なところもあります。何度も足を取られながら、雪を崩す人、運ぶ人。お互いを気遣って交代しつつ、どんどん道幅が広くなっていきます。みんな、頑張れ～～！！

終～了～！

あっという間に上まであがっていきました。「あと１分です！」審判の声に、みんなの動きが早まります。あともう少し！あと５秒！そしてついに・・・

雪かき前と、雪かき後。違いがわかりますか？上の方が特に広くなっているのがわかるはず。

結果発表！

たっぷり運動した後は、お昼ご飯。手作りの豚汁と、「小樽あんかけ焼きそば親衛隊」によるあんかけ焼きそばで、しっかり温まります。そして、食べ終わった後は・・・

なんと、まさかの（？）**３位入賞**！立派なトロフィーと海産物詰め合わせをいただきました！皆さんの頑張りが素晴らしい結果につながりましたね！本当におめでとうございます！！

参加された皆さんは、競技が終わってからも、足場が悪いところはきちんと埋めて、住んでいる人たちが歩きやすいようにしっかり整地。競技としてだけでなく、地域のためを思っての行動がとても印象的でした。

雪かきをしている間ずっと、通路沿いの家の方が「頑張って！」と声援を送っていて、感謝されていることを実感できました。そういった点も評価につながったのでしょう。皆さんお疲れさまでした！